





## 「総合的な学習の時間」の実践研究

魚津市立住吉小学校

《第1学年 実践例》

育てたい 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人々や自然に関心を持ち、進んでかかわっていこうとする子</li> <li>自分の感じたことや気づいたことを素直に表現する子</li> </ul>																																												
テーマ	みんな なかよし      まわりのひとやしぜんとなかよしになろう																																												
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動植物や人々との生活にふれ合う中で、それらの成長の様子や季節による違いに関心を持ち、生き物に大切に接したり、自然や人々に親しみをもってかかわっていこうとする思いをもつことができる。</li> <li>身近な人々や自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、自然を利用したり、季節にちなんだ遊びを工夫したりして生活を楽しみ、感じたことや気づいたことを素直に表現することができる。</li> <li>具体的な活動や体験をしながら、身近な人々や自然、自分の成長などの様子に気づくことができる。</li> </ul>																																												
単元の流れ (全102 時間)	<table style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 8.3%;">4月</td> <td style="width: 8.3%;">5月</td> <td style="width: 8.3%;">6月</td> <td style="width: 8.3%;">7月</td> <td style="width: 8.3%;">9月</td> <td style="width: 8.3%;">10月</td> <td style="width: 8.3%;">11月</td> <td style="width: 8.3%;">12月</td> <td style="width: 8.3%;">1月</td> <td style="width: 8.3%;">2月</td> <td style="width: 8.3%;">3月</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ともだち いっぱい</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">あきをたのしく</td> <td colspan="5" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ふゆをげんきに</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">はなをそだてよう</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">みんな だいすき</td> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もうすぐ2年生</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">パソコンをつかってみよう</td> <td colspan="5" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">えいごであそぼう</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ともだち いっぱい			あきをたのしく			ふゆをげんきに					はなをそだてよう				みんな だいすき			もうすぐ2年生				パソコンをつかってみよう						えいごであそぼう				
4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																			
ともだち いっぱい			あきをたのしく			ふゆをげんきに																																							
はなをそだてよう				みんな だいすき			もうすぐ2年生																																						
パソコンをつかってみよう						えいごであそぼう																																							
活動の様子	<p>「あきをたのしく」の活動を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路や校庭で見つけた秋を紹介する。</li> <li>校庭、学校のまわり、近くの公園、家のまわりで、「秋見つけ」をした。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>																																												

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スキー山で草花遊びや虫さがし、落ち葉拾いなどをし、自然とのふれあいを通して、季節の変化を感じ取った。</li> <li>・ 秋の草花や木の実、落ち葉などを使って、遊ぶものや飾りを工夫して作った。</li> <li>・ 作ったものを使って、みんなで仲良く楽しく遊んだり家族や2年生を招待してお店屋さんごっこをしたりした。</li> </ul>	
<p>成果と今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人が思う存分秋を楽しむ時間を取り、思い切り活動できる場所を十分に確保することで満足感を味わうことができた。その体験をもとに「あきいっぱいまつりをしよう」という目当てに向けて、「家族と1年生の自分たちではルールやゲームの回数を変えよう」など、相手を意識しながら活動を広げることができた。</li> <li>・ 「お客さんに楽しんでもらえる祭りにしよう」という共通の目当てをもって活動に取り組んだことで、よりよい活動へ向けて互いの考えを主体的に出し合うことができた。また活動後に振り返りの時間を取って全体で話し合ったり、振り返りカードを掲示したりすることで互いの考えのよさに気付いたり自分の活動を見直したりすることができた。</li> <li>・ 話し合い活動を充実するためには、聞く指導の徹底が重要となる。聞く態度を徹底するとともにメリハリをつけた授業展開ができるよう、子どもたちが活動時間の見通しをもち、目当てをもって活動できるよう場のもち方を工夫していくことが大切である。</li> </ul>	

《第2学年 実践例》

<p>育てたい 子供の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植物、小動物、人に興味・関心をもち、積極的にかかわりを広げようとする子</li> <li>・ 友だちと協力して、フェスティバルなどの催しを企画、実践しようとする子</li> </ul>
<p>テーマ</p>	<p>しぜんとなかよし いきものとなかよし 人となかよし 新しい自分を見つけよう</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ザリガニの飼育を通して、自分たちと同じように命をもっていることに気づき、親しみをもって世話をすることができる。</li> <li>・ これまでに体験した行事を参考に、友だちと協力して、企画や準備を工夫して行い、お世話になった人を招待し、みんなでフェスティバルを楽しむことができる。</li> </ul>

単元の流れ (全 105 時間)	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>4 月</td> <td>5 月</td> <td>6 月</td> <td>7 月</td> <td>9 月</td> <td>10 月</td> <td>11 月</td> <td>12 月</td> <td>1 月</td> <td>2 月</td> <td>3 月</td> </tr> <tr> <td></td> <td>はるがいっぱい</td> <td>やさいをそだてよう</td> <td></td> <td></td> <td>生きものをそだてよう</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>生きもをかおう</td> <td></td> <td></td> <td>みんなで作ろうフェスティバル</td> <td></td> <td></td> <td>あしたへジャンプ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>まちをたんけんしよう</td> <td></td> <td></td> <td>コンピュータになれよう</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		はるがいっぱい	やさいをそだてよう			生きものをそだてよう								生きもをかおう			みんなで作ろうフェスティバル			あしたへジャンプ					まちをたんけんしよう			コンピュータになれよう					
4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																																			
	はるがいっぱい	やさいをそだてよう			生きものをそだてよう																																								
		生きもをかおう			みんなで作ろうフェスティバル			あしたへジャンプ																																					
		まちをたんけんしよう			コンピュータになれよう																																								
活動の様子	<p>「生きものをかおう、そだてよう」の学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ザリガニのすみかやえさ、飼育の仕方について図鑑や本で調べ、実際に飼育し、ザリガニの成長を観察して気づいたことを継続的に絵カードに記録した。この観察記録をもとに5つのグループでザリガニ新聞を作成した。</li> <li>夏休み中に、交尾したザリガニが子どもを100以上産んだので、9月以降、1人3匹の子ザリガニを飼育している。大切に育て、大きくなったら、来年、新2年生にプレゼントする計画を立てている。</li> </ul> <p>「みんなで作ろうフェスティバル」の学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに体験した行事を参考にして、友だちと協力し、ゲームコーナー、食べ物コーナー、アクセサリーコーナー、劇などの出し物を企画し、10月の秋祭りに招待してくれた1年生、昨年フェスティバルに招待してくれた3年生、日頃お世話になっている先生方を招待して、フェスティバルを開催し楽しんでもらった。</li> </ul> <div data-bbox="472 979 748 1185" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1809 491 2094 699" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1809 751 2094 948" data-label="Image"> </div>																																												
成果と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜やザリガニの飼育を通して、野菜や小動物も自分たちと同じように命をもっていることに気づき、自他の命を大切にしようとする気持ちを育てることができた。</li> </ul>																																												

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェスティバルの企画、実践を通して、友だちと協力して活動する楽しさを味わうことができた。</li> <li>・ 枯れた植物や死んでしまったザリガニの気持ちを考えた後始末の仕方、実践したフェスティバルの反省を十分に行うことが大切である。</li> </ul>
--	---

《第3学年 実践例》

育てたい 子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたり活動したりして分かったことや思ったことを、自分なりに工夫してまとめたり、情報を発信したりする子</li> <li>・ 地域の一員であることに誇りを持ち、自分ができることに気づき、活動できる子</li> </ul>																																	
テーマ	めざせ 昆虫博士      チャレンジ！ ローマ字入力      ぼく・わたしの町 住吉																																	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の自然やまちの様子・特徴などに関心を持ち、調べたり体験したりする中で、地域との関わりを深め、そのよさに気づくことができる。</li> <li>・ 自分たちの学校や校区の歴史や自慢できるものについて関心をもって調べ、調べたことを新聞やマップに工夫してまとめたりすることができる。</li> </ul>																																	
単元の流れ (全105時間)	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めざせ 昆虫博士 1</td> <td></td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めざせ昆虫博士パート2</td> <td></td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ぼく・わたしの町 住吉</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">スピーク！ イングリッシュ</td><td></td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">スピーク！ イングリッシュ</td><td></td><td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">チャレンジ！ ローマ字入力 パソコンに親しもう</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	めざせ 昆虫博士 1				めざせ昆虫博士パート2				ぼく・わたしの町 住吉					スピーク！ イングリッシュ		スピーク！ イングリッシュ		チャレンジ！ ローマ字入力 パソコンに親しもう				
4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
めざせ 昆虫博士 1				めざせ昆虫博士パート2				ぼく・わたしの町 住吉																										
		スピーク！ イングリッシュ		スピーク！ イングリッシュ		チャレンジ！ ローマ字入力 パソコンに親しもう																												
活動の様子	<p>「めざせ 昆虫博士」の学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住吉校区を探検し、色々な昆虫を採集し実際に飼育する活動を通して、昆虫の体のつくりや生態などについて詳しく調べ、昆虫新聞にまとめた。</li> </ul>																																	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナチュラリストの鷹休さんをゲストティーチャーとして向かえ、早月川原で秋の昆虫を採集して、その生態を観察した。</li> <li>・ 自分が選んだ虫の飼育・観察を通して、分かったことを記録に書きとめたり、疑問に思ったことを本や実験で明らかにしていくグループ学習を行った。最後にクラスみんなで発表会を行い伝え合った。 「スピーク！イングリッシュ」の学習を通して</li> <li>・ ALTのハワード・テスさんに英数字、英単語、英語の歌、簡単な英会話を習い、英語に慣れ親しんだ。 「チャレンジ！ローマ字入力 パソコンに親しもう」の学習を通して</li> <li>・ ローマ字表を活用してアルファベットの大文字、小文字を覚え、清音や濁音、半濁音の仕組みを学習した。</li> <li>・ キーボード練習ソフトを活用して、ローマ字入力の基本であるキーボードのホームポジションを覚え、自分の名刺作りをした。 「ぼく・わたしの町 住吉」の学習を通して</li> <li>・ 1, 2学期の理科や社会の学習、また、地域発見ふれあい遠足などを思い起こし、自分たちの住んでいる住吉地区のよさ・自慢を再確認し、「住吉おすすめスポット」と題した地図にまとめた。また、6年生を始め全校のみんなに住吉のよさを紹介したいと考え、6年生を送る会で、グループごとに特にすすめたい場所のアピール点を短い劇にし、それらをつなげて「住吉めぐり」として発表した。</li> </ul>
<p>成果と今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校外学習に出かける場合は、そのねらいを明確にし、事前の準備を計画的に進める必要がある。また、行事などを有効に利用して、目的をもたせて参加させることが大切である。</li> <li>・ 3年生で学んだことを、上学年の学習にどのようにつなげ、発展させていくかを考えなくてはならない。</li> </ul>



《第4学年 実践例》

<p>育てたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りや地域の様子に興味や関心をもち、くわしく知りたいことや調べたいことから自分の課題を見つける子</li> </ul>
-------------	--

子供の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの思いや願いをもって、計画を立てて課題について調べたり、調べ方を見直したりする子</li> <li>・ 調べたことや考えたことを工夫してまとめたり、わかりやすく伝えたりする子</li> <li>・ 自分の活動を振り返ったり、友達と話し合ったりして、学んだことをまとめたり実践したりする子</li> </ul>																																	
テーマ	わたしたちの ふるさとを 見つめよう！ 調べよう！ 考えよう！																																	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りや地域のさまざまな様子を見つめ、興味をもった事からについてくわしく調べていくことにより、視野を広げたり、自分なりの考えをもったりすることができる。</li> <li>・ わかったことや考えたことをわかりやすくまとめたり、伝えたりすることができる。</li> </ul>																																	
単元の流れ (全 105 時間)	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">わたしたちの「住吉」を 見つめ直そう</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">魚津のふしぎ 発見</td> <td colspan="4" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住吉小学校から 発信</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">コンピューターに親しもう</td> <td colspan="6" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">エンジョイ イングリッシュ</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	わたしたちの「住吉」を 見つめ直そう				魚津のふしぎ 発見			住吉小学校から 発信				コンピューターに親しもう					エンジョイ イングリッシュ					
4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																								
わたしたちの「住吉」を 見つめ直そう				魚津のふしぎ 発見			住吉小学校から 発信																											
コンピューターに親しもう					エンジョイ イングリッシュ																													
活動の様子	<p>「魚津のふしぎ発見」の学習を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魚津には、全国でも珍しいものや不思議なものがいろいろあることから、「もっと知りたい」「くわしく調べたい」という思いを強くもった。</li> <li>・ 一人一人が見つけた課題に従い、「しんきろう」や「ホタルイカ」、「埋没林」、「加積りんご」、「名水」などについて、本やインターネットを使って意欲的に調べ始めた。また、水族館や埋没林館に出かけたり、家の人に聞いたりして、課題追究の内容を広げ深めた。</li> </ul>																																	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べてわかったことや自分が考えたことの中から、特にみんなに知らせたいことにしぼって発表し合った。どんな発表資料があれば効果的に発表できるかなど、発表のしかたも自分なりに工夫した。</li> </ul>
成果と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表内容、発表資料、話し方などを工夫市、簡単なプレゼンテーションのしかたについて学習することができた。</li> <li>地域のことをいろいろと知ることができ、自分たちが住んでいる「ふるさと魚津」に対して、愛着を深めることができた。</li> <li>くわしく調べていくと、内容がより専門的、科学的になり、子供たちが理解できない部分も出てくる。難しくなりすぎると追究意欲を減退させることもあるので、調べたことが次の課題や意欲につながっていくような支援を考えていく。</li> </ul>


《第5学年 実践例》

育てたい子供の姿	<p>人の誕生やサケの誕生に関心を持ち、課題を見つけ、自分なりの方法で解決する子</p> <p>生命を尊重しようという意識を持ち、自分や他の生き物の命を大切にしようとする子</p> <p>自分の生活を振り返り、健康な生活を送るために必要なことを探求する子</p>
テーマ	なるほど！生命の誕生 「人」編 「サケ」編 いきいき健康 - 自分の生活を見つめて -
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>人やサケの誕生について自分なりの方法で調べることによって、命の大切さを理解し、命を守っていこうとする態度をもつことができる。</li> <li>健康について自分の体や生活を客観的にとらえ、自分の課題を設定して追究し自分の生活をよくしようとする態度をもつことができる。</li> </ul>

単元の流れ (全110時間)	4月      5月      6月      7月      9月      10月      11月      12月      1月      2月      3月  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なるほど!生命の誕生 - 「人」編 -</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いきいき健康 自分の生活を見つめて -</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なるほど!生命の誕生 - 「サケ」 - 編</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">英語を楽しもう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コンピュータで作成しよう</div> </div>
活動の様子	<p>「なるほど!生命の誕生」の学習から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理科でメダカの学習を魚津水族館の学芸員、高山茂樹先生と連携して行った。理科で学んだ方法を生かし、一人一人が、人やサケについて疑問に思うことや調べてみたいことをインタビュー、本、インターネット、観察などの様々な方法で調べた。</li> <li>収集した情報をもとに、分かったことや自分の考えをまとめ、発表会を行った。</li> </ul>
成果と今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の学習でのメダカの飼育観察の経験を生かし、サケの世話を愛情をもって行うことができた。また、メダカの成長の様子とサケの成長の様子を比べながら命の尊さを感じることができた。</li> <li>専門家と連携して学習を進めていくのは、大変効果的である。メダカについての子どもたちの疑問に、丁寧に答えていただき子どもたちの知的好奇心を満足させることができた。サケや人についても専門家との連携を考えていきたい。</li> </ul>

《第6学年 実践例》

育てたい 子供の姿	身近な地域の環境に興味関心をもって調べ、自分たちにできることを実践する子  自分の成長を振り返り、感謝の気持ちを伝える方法を考え、実行する子
--------------	--

テーマ	環境チェック！住吉地区の用水 卒業に向けて - 感謝の気持ちを伝えよう -
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住吉地区の用水や動植物を調べるにより、住吉地区の豊かな自然に気づくことができる。</li> <li>・ 身近な自然（たんぼ・用水）に関心を持ち、その環境を守っていくために、自分の考えを実践していこうとする気持ちをもつことができる。</li> <li>・ 自分の成長を振り返り、自分を支えてくれた人々への感謝の気持ちをどのように表したらよいか考え、実行することができる。</li> </ul>
単元の流れ (全 110 時間)	<p>4月      5月      6月      7月      9月      10月      11月      12月      1月      2月      3月</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">環境チェック！ 住吉地区の用水</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; text-align: center;">卒業に向けて - 感謝の気持ちを伝えよう -</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%; text-align: center;">体験いっぱい！ 宿泊学習</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%; text-align: center;">地域発見ふれ合い遠足 - リーダーとして -</div> </div>
活動の様子	<p>昨年度は、総合的な学習の時間「私たちの早月川」で、早月川に住む水生生物について学習し、住吉地区の豊かな自然に気づき、その環境を守っていこうとする姿勢が見られるようになった。そこで、今年度はさらに子どもたちの関心を高めるために、水田に住む「貝エビ」を教材にして学習することにした。</p> <p>「貝エビ」は、豊かな自然にしか生きられず、他の地域ではあまり見られない住吉地区特有の生き物である。「どうして住むことができないのか。」と疑問をもったり、生息場所を記した「貝エビマップ」を作成したことで、「住吉地区でも生息している場所と生息していない場所がある。」など、新たに発見したりする子どもたちが出てきた。子どもたちは、貝エビ</p> 

	<p>高山先生との学習に臨んだ。高山先生から、貝エビは水田にとって有益な生物であること、大昔から形を変えずに生き続けている生物であることなどを学んだ。</p>
<p>成果と今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「住吉地区にしか生息しない貝エビはどんな生物なのだろうか。」というめあてをもって、水田に住む貝エビを調べた。分かったことは、住吉校下でも海側には生息しているが山側や角川以東には生息していないこと、貝エビが水田を泳ぎ回することで土が柔らかく耕され稲の生長によいこと、大昔から形を変えずに生き続けている生物であることなどである。高山先生から、どこの水田でも見られた貝エビは、農薬などの影響で希少な生物になってしまったという話を聞いた。子どもたちは、豊かな自然環境を守ることの大切さや生き物の神秘を感じる事ができた。</li> <li>・ 校区特有の教材として学習できる内容はないだろうかと高山先生に相談したところ、「貝エビ」を教えていただいた。専門家から観察の仕方や採集の仕方など様々なことをサポートしていただいたおかげで、学習内容を進めることができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貝エビは田んぼに水を張る5月の初めから水を引く7月の初めの約2か月しか生息する姿が見れないので、観察を計画的に行い、学習を進める必要がある。</li> </ul> </li> </ul>

